



るもい風土資産カード

海のふるさと館

黄金岬近くの高台に立つ

「遊び・学び・憩い」の多目的施設

平成元年(1989年)にオープンした「海のふるさと館」は、留萌市の景勝地「黄金岬」の高台に位置しています。留萌は江戸時代の末期に庄内藩によって統治され、外海と北前船の停泊する旧留萌川の河口(現在の留萌港)を見渡せる日和山、のろし台として使われた由緒ある場所でもあります。地下1階、地上2階の建物(入館無料)はガラスを多用した開放的な外観が印象的。目の前には、海浜公園でもある黄金岬、天気良ければ、南に暑寒連峰、北に天売・焼尻島などの雄大な景色が広がります。

景勝地としての立地を生かし、展望ラウンジ、テラスのほか資料館としての機能をもった「学び・遊び・憩い」の場として、一般市民をはじめ、観光客にも気軽に楽しめる施設となっています。常設展示室(無料)には、留萌と日本海や大陸との関係を示す化石資料、海洋生物、アイヌ文化遺産、北海道縄文文化遺跡、かつてのニシン漁の反映を記録した写真や資料の数々、本州との海上輸送を担った北前船関係の資料や、映像による展示も行われています。

このほか、留萌出身の映画音楽作曲家・故佐藤勝氏の資料コーナーも設置されています。ラウンジではミニコンサートなどのイベントも行われ、黄金岬と日本海を一望できるテラスは「るもい浜焼き」などでの利用も可能となっています。

五感で感じる！風土資産の魅力

聴 触 味 嗅 知

聴 映像展示の「留萌みなと物語」は留萌出身の音楽家・故佐藤勝氏の曲にのせて湯田克衛氏作詞の朗読、留萌市民250人による合唱などで演出された、感動と躍動感あふれる内容になっています。

味 5月から9月までの期間は、テラスで「るもい浜焼き」を楽しむことができます。焼き台、テーブルなども準備されているので、自分で食材を持ち込んだり、市内商店に予約してのデリバリーも可能です。

知 常設展示では「日本海の誕生」から「古代の留萌」、「留萌港の誕生」と、留萌に関わる長い歴史と系譜を辿ることができます。また、海の生物たちのほく製展示や「留萌港内遊覧シュミレーションるもい号」では、実際の留萌港の映像に向かい操縦することができ、船長体験ができます。

見どころ

日本海と関わってきた留萌の自然と歴史が学べる常設展示室は見逃せません。大画面の映像展示の「留萌みなと物語」は留萌港の誕生の経緯と、建設に尽くした人々のエピソード、留萌の四季折々の自然の姿で構成する感動と臨場感あふれる内容となっています。

ポイント

目前には岩礁地帯をもつ海浜公園、好天時には南に暑寒連峰、北に天売・焼尻島などが眺める景勝地にあります。展望ラウンジ、テラス、レストランのほか、資料館としての機能を持ち「学び・遊び・憩い」の場として利用されています。

■基本情報(R7.3)

住 所：留萌市大町2丁目
T E L：0164-43-6677
開館時間：9:00～18:00
休 館 日：4月下旬から10月下旬までは無休
11月上旬から4月中旬まで休館
観 覧 料：無料

※「留萌浜焼き」に関するお問い合わせ
・NPO法人留萌観光協会 TEL:0164-43-6817